

目 次

- 1面 会長あいさつ
 - 2~4面 新春講演会＆新年会
 - 5面 エコキヤップ回収報告、
通常総会報告、献血事業
報告
 - 6面 新入会員紹介、愛 LOVE
ファミリー



発行者
佐倉商工会議所女性会
会長 井野口 純子
A.D. 佐倉市表町 3-3-10
商工会議所内
TEL. 043(486) 2331
FAX 043(486) 5963

ともに考え、行動できたら素晴らしい

株井野口建材 佐倉商工会議所 女性会

佐倉商工会議所 女性会 会長 井野口綾子

心に掲げて いるものを

しつとりと命を育む梅雨のさ

なか、初夏を彩るサクランボの実は宝石の様な輝きを増し、草木の緑は一層鮮やかになつて参りました。

会員の皆様には、自然の営みにも負けないパワーで、益々ご活躍のこととお悦び申し上げます。

会員の皆様には、日頃より女性会活動に力強いサポートをしていただき、誠にありがとうございます。

お陰様で、宝田恭子先生をお迎えしての新春講演会で今年のスタートをきらせていただきます。



演題は“笑顔はタカラダ”。お客様との大切なコミュニケーションは、まずは笑顔から始まります。「表情筋を鍛えることで、豊かな笑顔は生まれるのです」と、歯科医師としてのお立場から、医学に裏付けされた理に適つたお話しは、実技とユーモアを交え、明快で楽しく、説得

緊張の中に準備を整え、お迎えした宝田先生は、雨上がりの庭に爽やかなオーラを発していました。

願いさせていただきました。山田オーナー様の奥様が女性会会員でいらっしゃることもあり、ひとかたならぬお世話をいたしました。ありがとうございました。ありがとうございました。

て、快くおひき受けいただくなり
講演会場は女性に大人気のリ
ストランテ「カステッロ」にお
とがきました。

著名なお方なので、講演会の実現は困難ではないかと思われましたが、担当事業部の皆さん

力がありました。明るく親しみ

柔軟な心と 変われる力を

新体制による活動を始めて間もなく三年となり、十月末で任

た。私達も刻々と変化する経済状況に、速やかに対応できる柔軟な心と“変われる”力を保持していきましょう。

今後も会員の皆様のご希望に添つた質の高い研修や地区懇談会等、会員交流の場を充実させますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度一回目の県外研修は筑波宇宙センターです。先頃、小惑星探査機「はやぶさ」が幾多の困難を乗り越え、七年振りに奇跡の帰還を果たしました。

す。しかし、どんな時にも、皆様から温かいご支援をいただきましたので勇気を持つて歩むことができました。とても嬉しく、感謝の気持ちで一杯です。

期満了となります。役員一同
心をひとつにして無我夢中で努
めて参りましたが、至らぬ事ば
かりで申し訳なく思つております。

新体制による活動を始めて間もなく三年となり、十月末で任

と納得しました

からだ！

企業家として、女性として、母として、パワフルに生きる宝田先生。



第一印象は ほがらかで素直な笑顔

平成二十二年一月二十八日、リストランテ・カステッロで、歯科医師の宝田恭子先生をお招きしての新春講演会が行われました。雨模様のなか、車から降りてこちら

た宝田先生は、出迎えた井野口会長ほか、役員にさわやかな笑顔でご挨拶。カステッロの入り口に咲いた花を見て、「あ、きれい！」と喜びの声を上げ、ご自身の携帯電話でうれしそうに写真を撮影していました。その後、役員と一緒に控え室へ。

ご接待を担当された吉田相談役は、宝田先生とすぐに打ち解け、先生から学生時代は、同時通訳に

なりたかったという夢などをお聞きになり、先生ご自身に強い印象を受けたそうです。
「初対面と見えないほどにこやかに、落ち着いてお話になるお姿が素敵でした。内面に自信を秘めた、現代女性らしい方だと感じました」（吉田相談役）



今回の講演会には、いつにもまして参加者が多く、会場に入りきれないほどの賑わいようでした。
講演会の最初には、井野口会長が演壇に立ち、ご挨拶。
『笑顔の達人』と自負している私達は、先生がお越しになるのを楽しみにお待ちしておりました」
そして、井野口会長の紹介で宝

若さを保つ秘訣は
『表情筋』にあり！



田先生が演壇に進みました。五十年代とは信じられない、その若々しさと美貌に、参加者からは驚きの声が！

宝田先生は、華やかな笑顔を浮かべながら、お話を始めました。
ただくのは、私が考えた『表情筋エクササイズ』です。実は、この

エクササイズは、顔面麻痺になり、食事を取ることも難しくなってしまった義母のために考案出したものなんです。顔の左右のズレを治す方法を考え、実践していくうちに、義母は表情を取り戻せただけでなく、口角が上がり、肌の色艶もよくなつて、以前よりも若返つたんです。」

宝田先生は、歯切れのよい口調で、笑顔を絶やさずお話を続けます。
「年齢を重ねると、女性なら誰しも、口元のしわやたるみが気になりますね。でも、顔にある『表情筋』、その中でもとくに口の周りの筋肉を鍛えることで、血行がよくなり、口元や輪郭が引き締まって、若く、みずみずしい笑顔を保てるのです」（宝田先生）

平成 22 年 新春講演会 & 新年会

続いては、顔のむくみをすつきりさせる『チヨキチヨキ・エクササイズ』。まず、顔の片側だけで試してみると、エクササイズをしていない側との違いが歴然！ あつという間に時間が過ぎて、いよいよ最後は、“ペットボトル筋トレ”です。参加者は全員立ち上がり、二リットルサイズのペットボトルに口をつけました。息を吸つたり、吐いたりするたびに、ペットボトルの「ペット」「ペッ



ペットボトル筋トレ

それぞれの動作は8秒位が目安



ペットボトルをくわ
え腹筋を意識しなが
ら息を吸いこむ

ゆっくりと息を
はき出す

笑顔はた

最初に教えていただいたのは、歯ブラシを使って、口の両脇にあるしわ、「ほうれい線」を確認するテクニック。参加者はみんな、鏡に映る自分をしっかりと見つめ、歯ブラシを握りしめ、真剣な表情でほうれい線をチェックしていました。

『口角上げエクササイズ』では、両手を頬に当て、「ひい、ふう、みい」と発声しながら、大きく口を開かします。

今までよりも、もっと素敵な笑顔になれますよ」（宝田先生）

今までよりも、もっと素敵な笑顔になれますよ」（宝田先生）

道具に使ったのは、
ペットボトル・毛鏡・ハブラシ。



プロフィール

宝田歯科医院院長 宝田恭子先生

日本アンチエイジング歯科学会常任理事。“口元の美しさ”も注目し、従来の歯科治療のほか、義歯やホワイトニングから、くちびるエクササイズなどを積極的に取り入れる。自身で考案した美顔マッサージが話題となり、テレビや雑誌、講演会などに多数出演。

わたし達に出来るエコ活動 「捨てればゴミ 集めればワクチン」 ペットボトルのキャップ800個で 1人の命が救える貴重な資源です



今回より、ジュース、お茶以外のペットボトルキャップも回収可能となりました。汚れを落として頂くと助かります。

皆様のまわりで行なわれているエコ活動のエピソードやご提案等がございましたら、ご意見をお寄せ下さい。今後の活動のご参考とさせていただきます。

皆様の温かいご支援ありがとうございました。
引き続きのご協力お願い致します。

第3回 エコキャップ回収報告

これまで(2010年4月22日現在)皆様のご協力により、ポリオワクチン401人分(キャップ約320,800個)を届けることが出来ました。ご協力、誠にありがとうございました。

佐倉商工会議所女性会奉仕事業部



五月二十一日晴天に恵まれた四月二十五日(日)「時代まつり」の会場で、青年部と女性会常総会が佐倉商工会議所三階会議室にて開催され、来賓として佐倉商工会議所から鈴木会頭・佐倉市から薄井課長、下原様をお迎えいたしました。

各議案は、慎重に審議されすべて原案通り可決、承認されました。議事終了後に、ご来賓の方々から「今年は、佐倉市産業振興条例が施行され、佐倉市の健全な発展と生活の向上を目指して、市や事業者、市民の皆様と積極的に取り組んでいきましょう。」とご祝辞をいただきました。

テーブルの上には、和の庭園をイメージし、竹細工で作られた花壇を前に日本茶と和菓子で来賓の皆様を囲んでの懇親会、次回の研修会の説明等を聞きながら本日の通常総会、無事終了いたしました。

女性会 通常総会を開催



晴天に恵まれた四月二十五日(日)「時代まつり」の会場で、青年部と女性会の合同事業である献血活動を行いました。祭りを楽しむ方々に献血のお願いのお声掛けをしました。

献血出来ない方もおられましたが、六十五名の方にご協力頂きました。

献血手帳持参で定期的に続いている方には特に意識の高さを感じ頭が下がる思ひが致しました。

献血事業報告

新入会員紹介

①氏名 ②事業所名（業種） ③所在地
④電話番号 ⑤ひと言

① 花島友美

- ② 有限会社ハナシマ (HAIR FLOS)
- ③ 佐倉市南ユーカリが丘 14-2
ガーデンラベニュー 1-4
- ④ 043-488-2678
- ⑤ ユーカリが丘南口でヘアーサロン
をやっています。どうぞよろしく
お願いします。



有限会社 三橋商会

三橋 君子

愛 LOVE ファミリー

私は佐倉市に生まれ、縁あって上座在住の夫と結婚して四十七年になります。

家が国道沿いだったので、立地を生かした商売をと思い、当時競合店の少なかつたガソリンスタンドを始めました。

お客様が来てくださいました。少しずつ競合店ができ、二十七年続いたガソリンスタンドから業種転換し、現在はラーメン店を営んでいます。初めは、慣れない仕事に家族全員で奮闘し、美味しけれど、充実した毎日です。近くに

主人は、町がよくなればと言う思いで、地域の皆さんと一緒に懸命に商工会議所等の地域貢献活動に取り組んできました。

そんな夫を私は縁の下の力

持ちとして支え、二人三脚でやってきました。その努力が認められ、一昨年環境大臣から、さらに関東商工会議所連合会から表彰を受けました。

仕事や地域の活動を地道に続けてきてよかつたとしみじみ思いました。ご褒美に夫婦で全国旅行をしたのも、よい記念になりました。

子供達夫婦に、孫が六人集まる、家の中はわいわいといつも賑やかです。家族水入らずの楽しみな時間です。これからは、健康第一に元気に過ごしてゆけたら最高です！



ひとりごと

先日、十年ぶりにアメリカ在住の妹に会いに行つてきました。

妹は二児の母で、今は二人とも

大学生ですが、ちょうど夏休みに入前でしたので、大学の寮から

二人の子供が「帰る」、「帰らない」で知人と少々話しがふくらみ、「親

元にいるうちにはまだ半人前」という米国人の考えが、あらためて問題提起されました。

妹は在米二十年以上ですので、既に米国人感覚。「十八になれば学生であつても一人前であるべき」という考え方。

でも日本はどうだろう、近年、若者の就職難、薄給な事もあいまつて、実家で世話になつて居る若者たち、いいえ中年層も多いはずです。

それだからといって半人前とは言いつ切れない部分も多く、時代の流れもあるのでしょうか。

いつたいどちらがほんとかしら、「甘やかすな、米国派」なのか、「温かく見守つて、日本派」なのか、子供たちにはどんなスタンスで接したらよいのでしょうか。

ちなみに二〇一〇年度から企業の外国人採用幅が急激に拡大しているそうです。

ますます日本の若者たちの肩身が狭くなっていますね。（うさぎ）